

令和4年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会 会議録

- 日 時 令和4年(2022年)8月2日(火)10:00～11:30
- 会 場 横須賀市役所 3号館3階 302 会議室
- 出席委員 横須賀市スポーツ推進審議会委員(敬称略 50音順)
青木久代、小野木浩貴、柏木雅一、加藤努、加藤明成、東海林義勝、鈴木志保子、高原宏一、平井慶一郎
- 事務局 文化スポーツ観光部 倉林孝英部長
スポーツ振興課 高橋哲也課長、前田幸一郎係長、蛭田茂穂係長、松浦政行主査、片桐隆貴(記録者)
- 傍聴者 1名
- 議事内容 開会
1 委嘱書交付
2 横須賀市あいさつ
3 自己紹介
4 議 題
(1)委員長の互選について
(2)令和4年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定について
(3)令和4年度スポーツ関係事業概要について
(4)令和4年度スポーツ関係事業(予定)について
(5)横須賀市スポーツ推進計画の改訂について
5 報告事項
(1)アーバンスポーツ(BMX・ダンス)について
(2)横浜F・マリノスに関連した取り組みについて
6 意見交換
- 資 料 1 横須賀市スポーツ推進審議会委員名簿
2 令和4年度横須賀市スポーツ推進審議会年間予定
3 令和4年度スポーツ関係事業概要
4 令和4年度スポーツ関係事業(予定)
5 横須賀市スポーツ推進計画(改訂案)
6 アーバンスポーツについて(報告事項)
横浜F・マリノスに関連した取り組みについて(報告事項)
7 関係法令(参考資料)

【開 会】

事務局が令和4年度第1回横須賀市スポーツ推進審議会の開会を告げた。

1 委嘱書の交付

出席委員9名に委嘱書を交付した。(机上交付)

2 横須賀市あいさつ

倉林文化スポーツ観光部長が挨拶を行った。

3 自己紹介

委員および事務局が1名ずつ自己紹介を行った。

● 定足数の確認

12名の委員のうち9名の委員が出席しており、スポーツ推進審議会条例第4条に基づく過半数を超えていることから、会議は成立となった。

● 傍聴者の確認

傍聴者 1名

4 議 題

(1) 委員長の互選について

- ・事務局からスポーツ推進審議会条例に基づく委員長の責務を説明した。
- ・参加委員から特に意見が無かったため、事務局から同審議会への実績やスポーツの指導歴等から東海林委員を推薦し、全委員同意のもと東海林委員を委員長及び当会議の議長とした。
- ・委員長職務代理者として、東海林委員長が加藤努委員を指名し承認された。

□ 委員長あいさつ

皆様のお力添えを頂きながら、スポーツの発展や推進に尽力していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

(2) 令和4年度横須賀市スポーツ推進審議会の予定について

● 概要説明

事務局が資料2をもとに説明した。

【要旨】

- ・審議会は年2回の開催を予定している。
- ・今回(第一回)の審議会では、「横須賀市スポーツ推進計画」の改訂内容についてご審議をいただき、第2回では審議内容等を反映したものを提出する。

● 審議・意見交換

□ 委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(3) 令和4年度スポーツ関係事業概要について

● 概要説明

事務局が資料3をもとに説明した。

【要旨】

- ・例年通り、市民スポーツ教室や市民レクリエーション行事などを行う予定。
- ・「プロスポーツふれあいプロジェクト」は、今年度からの事業でマリノスへの奨励金を計上している。
- ・西体育会館が工事完了となり、令和4年9月20日から使用を再開する。
- ・南体育会館は、令和4年10月から天井改修や空調新設工事のため、令和6年3月(予定)まで休館する。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(4) 令和4年度スポーツ関係事業(予定)について

● 概要説明

事務局が資料4をもとに説明した。

【要旨】

- ・7月の開催分まで終了している。大きなところでは、7月10日開催の大楠山を会場にしたミニマウンテンマラソンや、7月22日からの3日間で約1万人もの観客を集めたB MXジャパンカップなどが挙げられる。
- ・8月以降は、昨年度コロナで中止していたスポーツ大会やフェスタを開催する予定。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

(5) 横須賀市スポーツ推進計画の改訂について

● 概要説明

事務局が資料5をもとに説明した。

【要旨】

- ・導入部分で、横須賀市での新型コロナの影響による活動制限について触れている。
- ・第1章、「計画の見直しにあたって」では、新型コロナの影響により施策が実施できない状況から、令和3年度に見直しを行わなかった経緯。また、国からの新型コロナ感染対策の制限解除や「第3期スポーツ基本計画」策定などをうけ、スポーツ推進計画の一部見直しを行うこと。見直し内容としては、施策や目標指標の追加・削除、数値の見直しなどを行ったことを記載している。
- ・第4章、「スポーツ推進施策」の目標については、令和3年度に実施済み、および、令和4年度に実施予定の施策の削除を行った。また、「スポーツを実施する子どもたちの安全・安心の確保を図ります。」を追加記載した。
- ・第4章、「目標達成に向けた施策」に、以下の施策を追加記載した。

「アーバンスポーツを活用した連携協定を契機としたアーバンスポーツのまち」の推進

「市民を対象としたニュースポーツ等の体験」

「アーバンスポーツ体験会の開催等による普及促進」

「スポーツ能力測定会の開催」

「ホームタウンチーム活動推進事業」

「スポーツリズムトレーニング普及事業」

「少年期スポーツ障害予防対策事業」

・第5章、「目標指標及び進捗管理」では、掲載数値の時点修正を行った。

・委員の皆様からご意見を賜り、事務局で取りまとめたうえ、次回の審議会にて修正版をお示しし、3月議会で報告の上、令和5年4月から改訂版を公開する。

なお、ねんりんピックについては、11月に本市では卓球、閉会式が開催される。本推進計画が令和5年3月に改訂される予定のため、【実施済みのため削除】と記載している。

● 審議・意見交換

委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

委員

横浜F・マリノス練習場を契機とした久里浜地域のまちづくりや、横浜 DeNA ベイスターズ総合練習場を契機とした追浜地域のまちづくりは、何をしたら目標達成になるのか？

事務局

プロスポーツ選手やコーチが直接学校を訪問して授業等を行うことにより、児童にスポーツに対する関心を高めることが期待できる。また、練習場を契機とし、特に横須賀スタジアムで試合が行われる日には、市内はもとより市外からも多くの人々が来訪される。そのため、地元商店街等と連携し、経済波及効果を生みだしていきたいと考えている。

委員

目的や効果が市民には見えてこないため、もっと可視化してほしい。市民にとってどのような恩恵があるのか、具体的に示してもらえるとありがたい。スポーツを通じて横須賀市が活性化される好機だと思っている。

事務局

横浜F・マリノス、横浜 DeNA ベイスターズは、地域貢献をしていきたいと強く思ってくれているチームであり、連携しながら進めていきたいと思っている。

委員

資料5のP19にあるスポーツを実施する子供たちの安全・安心を確保する中で、体育器具などの施設関係の項目は入れなくて問題ないか？(国の方針がそうなら問題ないが)

事務局

国の方針を確認し、検討を行う。

委員

スケートボードなど、アマチュアスポーツを取り入れていくのもいいのではないかと感じている。

オリンピックの発掘もあり得るのではと感じている。

少ない予算の中、資金をあまりかけない形で、できる施策を盛り込んでほしい。

事務局

BMXジャパンカップで使用したジャンプ台などは、今後横須賀市で管理していくため、様々なことに活用していきたいと思っている。アーバンスポーツも取り入れて、施設や施策

の検討を進めていきたい。

(6) 報告事項

● 概要説明

事務局が資料6をもとに説明した。

【要旨】

- ・アーバンスポーツは、若者に人気があり、エンターテインメント性が高く、本市のイメージとマッチしていることから、「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」のさらなる実現に向け、BMXとダンスを中心に、アーバンスポーツの普及・振興に向けた取り組みを進めている。
- ・今後の方向性として、BMX については、BMXジャパンカップの継続開催、ジャパンカップで使用したセクションの利活用拡大、指定管理者と連携したアーバンスポーツイベントの実施、学校訪問やBMX体験会、講演会の継続実施などを進めていく。
- ・ダンスについては、高校ストリートダンスグランプリの規模拡大、中学・高校ダンス部へのダンス講師派遣などを進めていく。
- ・横浜F・マリノスに関連した取り組みについては、本市のホームタウンチームである横浜F・マリノスの練習場が久里浜に整備される予定で、これに合わせて、久里浜地区を中心としたまちの賑わいを創出するとともに 地域経済の活性化を図っていく。
- ・練習場の一部供用開始にともない、オープニングセレモニーを令和5年1月に開催する予定である。
- ・練習場の整備を契機に、スポーツを核としたまちづくりや来訪者の増加などを目的とし、(一社)F・マリノススポーツクラブ、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横須賀市の4者による連携協定の締結を行う予定である。
- ・マリノスにちなんだ、久里浜西口駅前通りの道路愛称制定、練習場を中心とした久里浜地域のまちなか装飾なども検討している。

● 審議・意見交換

□ 委員長

ただいまの説明につきまして、質問・意見がございましたらお願いいたします。

⇒意見なし

5 意見交換

□ 委員長

意見交換に入ります。質問や各団体の行事の告知でも構いませんし、情報交換の場として委員の皆様には忌憚のないご意見を頂ければと思います。どなたかご発言はありますか。

□ 委員

障害者スポーツの普及はまだまだこれからだと思うが、指定管理者が変わると障害者に対する考え方やルールが変わることもあるため、今後、指定管理者の公募条件の中に、障害者に対する配慮や障害者スポーツの普及を推進するなど、何か盛り込んでほしい。そういったことを積み重ねていくと、障がい者のスポーツ推進にもつながり、もしかしたらパラリンピックに出場する選手が誕生するかもしれない。

□ 事務局

体育会館等施設においては、昨年度末に障害者等への対応マニュアルを作成し対応するようにしたが、徹底できていない場合もあるようなので、今後も指定管理者への指導を行っていきたい。対応する職員によっては、見たことがない聞いたことがない競技などがあると、それだけで難色を示すことがあるようなので、どのような内容でどういう器具を使用するのかなどの確認を行ったうえで、使用の可否を判断するようになっていくようにする。我々としては、障害者・健常者の区別なく、より多くの方々に施設を利用していただきたいと考えている。

- 以上で、審議が終了し閉会した。